



2023 春闘 8 大事故になってからでは遅い! 安全教育・社員へも投資を!

大事故につながる事象が連続して発生

① 1月末、T駅で新幹線へ車いす案内のためスロープ板を付けて案内したが、案内後、乗車する旅客が大勢乗り込んできたため、担当者が降りられなかった。ホーム担当者は案内終了が分からないまま発車時間のため発車案内をした。スロープ板がついたまま列車が起動し、近くにいた清掃作業員がスロープ板を蹴り、取り外したという事象。



② 2月上旬、S駅では『ホームドアの外側に旅客がいる』との通報を受けたため係員が駆けつけた。すると旅客は線路に降りてしまった。慌てて、「抑止手配」を他の社員に頼んだが、「抑止完了」を確認せずに線路内に降りてしまったという事象。

どちらも連絡・連携がうまくいっていない状況であったと思われます。社員同士でも、グループ会社の社員とも「連絡の徹底」がされているのか、連携はどうか改めて点検することが必要です。

「組織再編」などの動きも急で、教育が追いつかないことが問題となっています。コロナ禍で出来なかった「安全教育」を今こそ徹底すべきです。



**2023春闘では、社員の賃金と同様に
社員を育てるための「投資」も求めます**

安全で安心して働ける職場にしよう!

組合に加入し一緒に声を出しましょう!